清水工業株式会社

（１）事業所の概要

○所 在 地：福井県敦賀市野神26号4番地の9

○代表者名：代表取締役　清水　直喜

○従業員数：39名

○創　　業：昭和51年1月16日

○業　　種：建設業

○事業内容：原子力・火力発電プラント配管の設計、施工。
各種バルブの取り外し、フィッティング。油圧型・
機械型等各種配管防振機の取付、点検、修繕。
ポンプ・ろ過機等機械の据え付け、点検、修繕。

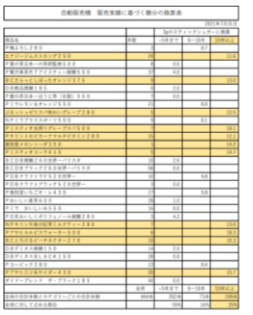
（２）事業所で取り組んでいる健康づくり

【取組みの目標】
・毎日の体調チェック：生活習慣に少しずつ変化をつけて、感染予防・生活習慣病予防
【取組みの内容】
・定期健診受診率は高い水準を保てており、コロナ禍の対策としても行っている毎日の健康チェックをとおして、感染予防・健康維持に努めているが生活習慣病予防の意識がまだまだ低いことから、個々の取組みを進め改善していく。

《食生活の改善に向けた取り組み》食品バランスガイドなどの紹介を行ってきたが、食事に直接変化を求める事は大変難しく、まずは日々気軽に口にする飲料から、含まれる糖分を認識するため、血糖値のコントロールについての案内、自販機の飲料一本当たりの糖分量の表の回覧などを行った。

〈健康増進に向けた対策〉健康診断で再診や要経過観察などの結果が出た社員には就労可となるまで再受診を必ず行わせ、より精密な検査の必要性については産業医の意見を基に総合病院などへの紹介をお願いしている。
〈保健指導の実施〉残念ながら保健指導に該当する社員の人数は緩やかな減少にとどまっているが、必ず指導を受けるよう相談し、保健師のアドバイスなどを参考に健康状態の改善に取り組んでもらっている。
〈運動の機会の増進〉毎朝ラジオ体操を実施し、運動量の確保や体のストレッチに取組み、筋力や柔軟性の維持、ケガの防止に役立てている。
〈メンタルヘルス不調者への対応や取組み〉メンタルヘルスに不安や不調がある社員に対し、相談窓口を男性・女性など複数を用意し、社員の目に留まる場所へポスターを掲示するなど、相談しやすい・休暇などを考慮しやすい職場づくりを心掛けている。
〈感染予防に向けた取組み〉コロナウイルス対策のため、昨年度から実施している毎日の検温やチェック表の記入、マスク・消毒液・体温計などの設置の他に、デスク毎にパーテーションを設置した。また、不要不急の外出や蜜を避ける取り組みの他に、コロナウイルスワクチンの職域接種を7月から利用し、希望者にはより早く接種できる環境を提供した。

【取組みによる成果】
コロナ禍で、同僚や上司との交流は控えられている状況の中で、感染への不安などもあったと思うが、自身の体調に気を配る習慣がついたことから、周りの人たちの体調にも気付き、周囲に感染などが起きた場合も、相手への配慮や理解が深くなった。
生活習慣病予防への取組みも、少しずつ塩分や糖分、自分の血圧や健康診断結果を気に掛ける発言なども出てきており、自社に設置した自動販売機の売上実績中、4カ月平均で約6割の飲料が水やお茶、微糖などの糖分を控えた物になっており、自分の健康への関心の高まりが窺えた。



（３）今後の健康づくりの取組み

【今後の目指す姿】
社員一人一人が自分の健康について理解し、予防に努め、会社はそれをサポートする為に必要な知識の紹介や制度の構築を目指す。
【重点的に取り組む内容】
健康に不安や、健診結果に指導や指摘があった社員には、一定のルールを定め人間ドックを会社負担で受信できる制度を設けたい。